

StageIV 大腸癌に対する外科手術の治療成績に関する後方視的検討 について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

本研究の目的は、同時性遠隔転移を伴う Stage IV のうち根治切除を施行した症例において、外科手術の治療成績を検討することを目的としています。

同時性遠隔転移を伴う StageIV 大腸癌へ実際どのような治療法が行われているかを理解することは、今後、適切な外科医療を提供することにつながります。今後の大腸癌治療を行う一助になると考えられ、社会的意義は大きいと考えられます。

【対象】

対象：2008 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに、当院および参加施設において同時性遠隔転移を伴う StageIV 大腸癌に対して根治切除を施行した症例

【情報の利用目的及び利用方法】

患者基本情報（性別、生年月日等）、原発巣総合情報、原発巣病理情報、施設基本情報などを収集し、StageIV 大腸癌の外科手術の短期成績、および無再発生存期間および全生存期間に関わる因子について検討します。

【調査項目】

A 患者基本情報（性別、生年月日 BMI, PS, 既往歴）

B 原発巣情報：原発巣総合情報、原発巣病理情報、原発巣術後に関する情報（異時手術の場合のみ記載）

C 遠隔転移情報：

遠隔転移総合情報、遠隔転移切除前治療情報（異時手術の場合のみ記載）、遠隔転移術前治療前情報（異時手術の場合のみ記載）、遠隔転移術前治療前情報（異時手術の場合のみ記載）、遠隔転移手術情報、遠隔転移病理情報、遠隔転移術後に関する情報

D 切除後情報

R0 切除後補助療法に関する情報、予後に関する情報

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【調査対象期間】

2008 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

【利用する者の範囲】

大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座消化器外科学 植村 守
及び研究事務局・データセンター（大阪大学消化器外科共同研究会）とその参加施設
参加施設は別紙参照

【試料・情報の管理について責任を有する者】

大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座消化器外科学 植村 守

【研究期間】

実施許可日から 2025 年 3 月 31 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【研究機関・組織】

【研究代表者】

植村 守
大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学
〒565-0871
大阪府吹田市山田丘 2-2
TEL：06-6879-3251

【研究事務局】

波多 豪
大阪大学消化器外科共同研究会
大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学
〒565-0871
大阪府吹田市山田丘 2-2
TEL：06-6879-3251
FAX：06-6879-3259

【当院の研究責任者】

村田幸平
関西労災病院 外科
〒660-8511
兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69
TEL：06-6416-1221（代表）
FAX：06-6419-1870（代表）